

7. 麻酔科

GIO 総合目標

手術中の全身管理を中心として、呼吸・循環などのモニターの意義を理解し、臨床的な技術と知識を習得する。

SBOs 行動目標

1) 術前評価

- ・術前診察により、患者の全身状態を的確に把握し、問題点を評価することができる
- ・予定術式を理解し、最適な麻酔法を選択し計画を立てることができる
- ・麻酔による副作用や合併症を述べることができる

2) 麻酔維持、基本的手技

- ・麻酔器の始業点検をおこなうことができる
- ・末梢静脈を確保することができる
- ・気道確保、バグーマスク換気ができる
- ・喉頭展開、気管挿管ができる
- ・各種モニターの意義を理解し、異常を指摘することができる
- ・全身麻酔に使用する薬剤の薬理作用、副作用を説明することができる
- ・病態に応じた輸液・輸血をおこなうことができる
- ・脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔について述べることができる
- ・胃管を挿入することができる
- ・動脈圧ラインを確保することができる

3) 術後評価

- ・麻酔に伴う副作用・合併症について理解できる
- ・術後痛を評価することができる

4) 安全管理

- ・感染対策を理解し、実施することができる
- ・医療事故の防止および、その対処について理解することができる

5) 対人関係

- ・外科系医師や手術室のスタッフと適切なコミュニケーションをとることができる
- ・自己判断ではなく、すぐに上級医へ報告・相談ができる
- ・守秘義務を果たし、患者・家族のプライバシーに配慮することができる

6) 記録

- ・麻酔記録を適切に記載することができる
- ・麻酔台帳へ記録することができる

LS 研修方略

- ・術前診察に立ち会い、患者情報を的確に把握する。
- ・症例毎に、事前に担当指導医と麻酔計画を立てる。問題点をあげ、その対策を検討する。
- ・麻酔中の疑問や問題点を、その都度 指導医と質疑応答し知識を深める。
- ・術後回診をおこない、問題点の評価や対処法を習得する
- ・毎週水曜日の午前中は、ペイン外来を見学し、疼痛疾患に対する理解を深める。

EV(研修評価)

1. 自己評価:PG-EPOCにて当科研修における各評価項目を自己評価する。PG-EPOCに経験した症候、疾病・病態を入力する。
2. 指導医による評価:指導医はPG-EPOCにて研修のフィードバックをしながら評価を行う。
3. メディカルスタッフ等による評価:指導者は依頼を受けた者よりPG-EPOCに入力してもらおう。
4. ローテート科への評価:PG-EPOC内のローテート科の評価を入力する。
5. 指導医への評価:PG-EPOC内の指導医等の評価を入力する。
6. 退院サマリー及び外来サマリートの評価:各自で入力したサマリーを上級医が評価し、フィードバックしてもらおう。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	救急車当番	麻酔症例提示 とカンファ、 手術麻酔	麻酔症例提示 とカンファ、 ペイン外来	麻酔症例提示 とカンファ、 手術麻酔	麻酔症例提示 とカンファ、 手術麻酔
午後		手術麻酔	手術麻酔	手術麻酔	手術麻酔